

学科名	電気電子工学科、生物環境化学科、情報学科						
科目名	TOEIC英語Ⅱ						
科目区分	人間形成科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	田吹香子						
授業の到達目標 (シラバスから)	TOEIC 本試験で300点以上取得を目標とする。そのために、まずはTOEICの試験形式を知ることから始め、TOEICの問題の中の社会生活に必要なコミュニケーションの情報の取得能力を実践と共につけてゆくこととする。具体的には、語彙を増やすこと、文章を読む(聴く)力をつけること、全体の内容を把握する力をつけることに焦点を当て、復習テストなどで学習した内容を定着させていく。加えて、来年度からTOEIC IPが新形式になることを考慮し、新しい形式の問題にも取り組む。						
日程と内容	<p>木曜日1限</p> <p>第1回：TOEICとは・試験の構成 他 第2回：1 Shopping 2 At a Restaurant 第3回：3 At an Airport 4 Entertainment 第4回：5 At a Hotel 6 Job Hunting 第5回：7 Telephoning 8 Negotiating 第6回：9 Giving a Presentation 10 Appointments 第7回：調整日 応用問題など 第8回：TOEICミニ模擬テスト 第9回：11 At a Bank 12 On the Street 第10回：13 Taking a Trip 14 Dealing with troubles 第11回：15 Renting an Apartment 16 Meetings 第12回：17 Business Performance 18 Handling Customer Complaints 第13回：19 Advertizing 20 Parties 第14回：調整日 応用問題など 第15回：期末試験模擬演習 第16回：TOEIC IP TEST (期末試験)</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題			計			100%
	演習						
授業到達目標の達成度	TOEIC形式を知る:達成した 語彙を増やす:達成した 文章を読む(聴く)能力をつける:やや達成した TOEIC300点以上取得:かなり達成した						
反省点	今期は来年度から始まる新形式のTOEIC問題を扱う教科書を一足早く採用し、学生がそれに慣れることのできるようにした。その甲斐あってか、満足した学生が多かった一方、授業が分かりづらかったという学生が7%ほどいた。英語に関する能力には個人差があるので配慮はしているが、今後も注意してゆきたい。また、数値から予習・復習が定着していないことが見て取れるので、その点を今後考慮したい。						
来年度の計画	来年度から新形式の問題がTOEIC IPでも採用される予定だ。一般会場で受験する学生もいることから、その準備を今年度後期から前倒しで始めた。この足固めを来年度は本格化させ、学生がより効率的に問題を解けるような時間配分を徹底させたい。そのためには基本的な語彙や表現だけでなく、日常・ビジネス上の耳からの情報のまとめ方や文章の読み取り方を学生が習得することも必須である。						
授業評価アンケートに対するコメント	教員や授業に関する評価は5または4が多かったので、今回の新しい取り組みは評価が高かったと思われる。しかし、若干名授業の対する満足度が3の学生もあり、その点は今後も理由を探り配慮をしたい。また、学生自身が自己学習しているかとの質問では2と1を選択した者が多かったので、予習・復習をいかに定着させるかということが問題となっている。						
履修登録者数	28名	定期試験 受験者数	26名	合格者数	19名	合格率	73%